

議会だより入善

GIKAI

DAYORI

NYUZEN



あいの風 夢のせて 2000年とやま国体

9月定例会

平成12年度一般会計補正予算	2
常任委員会レポート	3
一般質問・町政を問う (14議員)	4
町発注工事入札結果表 (7月~9月)	19
各種団体・傍聴席からひとこと	20

No. 115

2000年10月27日
(平成12年)

発行/入善町議会

編集

入善町議会広報編集特別委員会
富山県下新川郡入善町入善 3255
☎ 0765(72)1100 〆 0765(72)4711

平成12年度 一般会計補正予算

5億3,936万円を追加し 総額120億5,385万円とした

漁港高度利用活性化対策事業スタート

深層水取水施設工事費に2億5300万円

9月議会に提案された、一般会計の補正予算は、漁港高度利用活性化対策事業の国・県の補助金が大幅な増額があり、事業の実施に弾みがついたといえる。取水施設の事業に対する補助対象割合が、97%と高くなり、この事業に対する国の期待の大きさがうかがわれる。

また、旧栢山小学校の校舎は取り壊し、栢山保育所の改築計画が提案された。今後、新たな議論が予想される。

県補助金2億7510万円つく
11月、工事請負契約を提案

深層水取水施設の工事は当初、国・県の補助金は水産業に利用する分として70%が補助対象とされていたが、国の補助内示によれば取水施設の整備費のおよそ97%が補助対象とされ、2億7510万円が増額された。

一方、取水施設の総事業費は、2億7800万円増

額され9億7100万円となる。これは、深層水の取水口を、水深300m地点を予定していたが、刺し網漁場への配慮と、より安定した深層水を汲み上げるため、350m地点まで下げたこと。このため、取水管の延長が750m長くなり3250mに変更されたことがその主な理由である。



石川県内の風力発電

風力発電調査
委託料
3000万円

私たちの生活に欠かせないものに電気がある。地球環境を守ることが、いちばん大切だといわれている現在、この電気を風の力で発電しようという試み

が全国でされている。この発電に適した土地を探すため全国81カ所で行われるうちの一つで、新エネルギー・産業技術開発機構から委託を受け、東五十里地内で、風速などの調査を一年間にわたり行い、発電が可能かどうかの基礎データを収集する。

栢山保育所
改築設計料
1200万円

園児の増加から狭く、改築が要望されていたが、平成13年度の改築に向け、設計作業が進められることになった。場所は、旧栢山小学校のグラウンド部分に移転する予定。

郷土芸能練習場建設に
3000万円

北陸新幹線建設地域の振興と生活環境の整備を目的に県から3分の1の補助を受けて、南部コミュニティセンターに防音設備を完備した、郷土芸能練習場(仮称)を建設する。

常任委員会レポート

9月13日・14日・18日の3日間
総務、教育福祉環境、産業経済
の各常任委員会が開催され、付
託案件を審議した。

以下、常任委員会の要旨を報
告する。

総務 入善町新総合 計画基本構想 を評価

21世紀に向けた新総合計画、
時代の推移、現状の分析と将来
展望にたった柔軟性のある進め
やすい基本構想になっていると
評価する。

今後の町政を進めるにあたつ
ては、事業の優先度、必要度、
財源の裏付けというものを踏ま
えて、町民の幸せ、生き甲斐と
いうものに対して、しっかりと
実施計画の中で取り組むよう要
望する。

サンウエルのオープンに伴な
い、高齢者を対象とした「パソ
ン教室」を開催することは、
生きがい対策、引きこもり防止
対策、痴呆防止対策などの施策
として期待し評価する。

南部コミュニティセンターに
隣接して、郷土芸能練習場（仮
称）を建設することは、町民の
期待に応えたもので、一部地域
にとどまらず全町の関係者に利
用され、愛される施設になるよ
う期待する。

また、運動公園を利用して、
マレットゴルフの施設を整備す
ることも、健康で明るい町づく
りのために結びつけていただ
きたい。

望する。

漁港漁村整備費
補正額2億86
64万円

深層水事業に係る、国・県補
助金が主なものであるが、取水
事業並びに蓄養、養殖事業につ
いては、当初、5億円の寄付が
あり、漁業振興基金として3億
円、地域振興基金として2億円
積んだところである。深層水事
業採択の際には、この5億円の
範囲内で、入善町の持ち出しは
極力少なく抑えたいとのことで
あり、そのことを十分考慮の上、
事業推進するよう要望する。

教育福祉環境 日常生活によ り密着した政 策を望む

新特養老人ホーム
の建設決まる

一日も早い施設の建設を要望
していたところ、今回、新川1
市2町の協力を得て、「おあし
す新川」として建設にこぎつけ
たことに対して高く評価する。
新しい施設が、地域住民に信
頼され、活用されるよう期待す
る。

産業経済 企業誘致の環 境づくりにと ツブが責任を

海洋深層水関連の非水産分野
の企業誘致などは、役場関係部
門の「報告・連絡・相談」を密
に取り組むこと。

企業誘致、工業用地の先行取
得など、環境づくりのためにも
役場トップの責務を明確にすべ
きである。

道路舗装などは国民体育大会
のためというのでなく未解決に
なっている多くの請願・陳情の
必要度・優先度を見極め「町民
が主人公」を重く認識してほし
い。

町営バスは高齢者の安全対策
・身体障害者への対策として、
つり革設置の予算を計上してい
るが、これだけで対応できるか
疑問である。台数の増加を検討
していただきたい。

下水道工事中に水道管破損な
どの事故が多いと聞く。業者の
指導を徹底させたい。

小摺戸浄化センターの供用が
始まるが、排水設備の検査業務
など職員配置に配慮を望むもの
である。

みなさんの請願

陳情のゆくえ

○舟見地区簡易水道改善計画についての
請願……………採択

○町道おけさ湯線の拡張及びそれに伴う
整備についての陳情……………採択

議員提出議案

○道路特定財源制度の堅持等に関する
意見書……………可決

○「自然エネルギー発電促進法」の早期
制定を求める意見書……………可決

人権擁護委員

谷口整子氏(再)の推薦に同意



入善町門山575番地

入善町教育委員

2氏の選任に同意



本多宗高氏(再)

入善町上飯野691番地



坂本利子氏(再)

入善町入膳5390番地

一般質問

第27回定例会

深層水取水地点から平曾川河口をのぞむ

ここが聞きたい……

町政を問う

14人の議員が登壇

9月議会的一般質問は、12日・13日の2日間おこなわれ、14人の議員が質問した。

旧栲山小学校問題や新総合計画における農業行政のあり方、問題視される黒部川のダム排砂やJR入善駅の無人化問題等、多くの傍聴者を前に、激論が交わされた。

主な内容は次のとおりである。

(注) 一般質問は、本人が原稿を書き、原則としてそのまま掲載した。

- 防災対策の強化について
- 旧栲山小学校問題について
- 有機農業や農業公社の設立について
- 下水道事業の展望について
- 公正、公平な入札制度の確立について
- 福祉の見直しについて
- ふるさと産品のPRについて
- 施工建設業者の寄付行為について
- 海洋深層水事業について
- 介護保険について
- 市町村合併について
- 災害時における緊急体制の充実について
- 栲山保育所の改築と旧栲山小学校校舎との関連について
- 出し平ダム・宇奈月ダムの連携排砂について



改善がのぞまれる防災・救急指令室

防災対策は万全か

東 狐 和 議員

町長

防災無線は希望があれば検討したい

問 防災行政無線放送のチェック点検をしているか。
米澤町長 一部聞こえにくい所もあるとの事、地元が一致して設置希望があれば検討したい。戸別受信機の2割助成を行っているので大いに活用してほしい。

問 青少年の健全育成と少年法改正について。
米島教育長 青少年育成町民会議が中心となり、ボランティア活動、スポーツ少年団、児童クラブ等で異世代交流事業をやっている。また少年法改正については事件の内容によっては刑罰も止むを得ないと考えている。

地方行政のあり方について

問 入善町新総合計画の理念と今後の課題は。

町長 「扇状地にひと・くらしの輝くまち入善」を理念として①地下水保全条例の策定②海洋深層水の高高度利用③光ファイバー網の整備推進④住民参加の町づくり等、施策の推進に当たる。

問 J R入善駅シンポジウムなど議会に案内がない訳は。

町長 町民、議会へのPR不足を反省するとともに今後PRに努めていく。

問 市町村合併について。
町長 新川介護保険組合など財政的、歴史的、地理的

条件からも大きな行政課題と認識し、町民と相談して行くべき問題と考えている。

男女共同参画社会の実現について

問 女性町職員の管理職登用を。

町長 現在女性課長はいないが係長以上は7名いる。また、現・女性プランにおける各種審議会委員などへの女性参画は23%（目標30%）で今後積極的登用に努めたい。

問 県のプランと町推進プランの整合性については、アンケートの結果を分析し、整合性をはかっているか。
入善らしい行動計画として共稼ぎ家庭が多い事から

参画社会形成の意識を高揚し、啓蒙活動を展開していく。

問 精神障害者の社会参加を支援すべきである。

町長 今後運営主体・資金・施設設置・作業の安定供給の問題など住宅福祉に対応した体制の整備に努力する。

問 一人暮らし老人や在宅寝たきり老人など把握しているか。
寺西健康福祉課長 一人暮らし老人は町全体で470人、在宅寝たきり79人で救急体制については地域ぐるみで安全協力願いたい。緊急通報装置（ペントラント方式）を実施しているが、さらに万全の体制をはかりたい。

栢山小の価値評価を検討せよ

五十里 隆 章 議員

町長

十二年度の早い時期に取り壊す



旧栢山小学校正面玄関

問 栢山小学校の存廃について、住民の意見が分かれています。

他の小学校取り壊しの際になかった現象である。

町として栢山小校舎の学的、歴史的評価をどのようにされたか。

また、文化財登録制度をどのように理解しているか。日本建築家協会北陸支部の評価をどのように受け止めているか。

名譽町民前田常作先生は、町長に保存されるよう進言されたが、どのように受け止めているか。

町長 栢山地区の皆さんが地区の発展と将来を考え、取り壊しを決定されたもの

だ。地区の意向を最大限尊重し、取り壊しを決定した。旧栢山小学校は平成13年の早い時期に取り壊したい。

栢山地区の中核ゾーンとして位置づけている。指摘の有識者による存続の検討は地元の意向もあり、現状ではなじまない。面影を残すとすれば、レブリカ、絵画などを展示したり、一部材料を使用したい。

上原生涯学習・スポーツ課長 文化財としての価値は下山発電所と同等と思う。諸会合、一般質問の答弁調整では進言している。

本本助役 専門家の判断を考えたが、栢山地区の意向もくみ、ある意味ではや

むなしと考え、忍び難きを忍んでということだ。

意見

文化財の価値をどう評価するかは非常に難しい。しかし、文化財保護法の主旨をよく理解しておく必要がある。入善町の行政の文化度ははかる尺度とみまう。少なくとも専門家の検討を拒むという態度は承服できない。

本物かどうか見極めるといふ真摯な態度が行政に求められると考える。

農業公社設立について どこまで進んだか

谷口一男議員

町長

公社を基幹施設として検討を進めている



にぎわうとれたて朝市にゆうぜん

問 農産物価格は輸入ものにおされ年々下落している。農業は町の基幹産業であると町はいっているが本当に基幹産業といえるのか。新総合計画の中で町農業の牽引役として一日でも早く公社設立をしたらどうか。今までの様な検討をしてきたのか。

町長

公社設立は

農地幹旋、窓口一本化とその調整機能の一元化をはかるものであり、農業の経営体として組織化することも必要である。公社を基幹施設として発展させることが重要であり、新総合計画の中で位置付けをはかるべく検討を進めていく。

また、

11年9月に趣意書

が農地利用集積検討委員会

並びにJA入善町から出され、

本年4月に協議し、具体的に検討することで確認されている。

問 有機農業の取り組みについてどの様に考えていくのか。町は堆肥化処理施設や有機栽培の取り組みについて県外を視察しているが循環型農業の構築、環境に優しい農業、付加価値を付けた農産物の生産による所得の向上など、堆肥化処理施設の建設も含め、基本計画の中でどう位置付けていくのか。

大角農業水産課長

今日産

地間競争が行われている中

で、有機農業は生き残りの

一つであり、これからの大きな課題として認めている。環境三法等の問題もあり、畜産施設の整備等、行政としての役割を検討していく。

地元農産物の

町内消費を促

す方策は

問 町で生産される農産物の消費を入善町内で促し、自給率を高める施策を強く推し進めて行くべき。目標自給率の制定や町内消費を促す方策を検討し、条例制定の考えはないか。

農業水産課長 現在、朝市という形でやっている。中町商店街の空き店舗の利用等、可能な限り検討していく。

問 基本計画の中で、地元農産物の調達、児童数の減少、安全性、行政改革などから給食センター建設を検討する考えはないか。

教育長 今後は学校給食業務の効率化をはかり、サービスの適正化に向け、進めていく。

現在の自校式を引き続き行いたい。

情報技術（IT）が町民に

どのような幸せをもたらすのか

広瀬 喜代志 議員

町長

メリットもあるがデメリットも指摘されている

問 世は全てIT革命が主語となって動いているが、IT狂奏曲にならぬよう慎重に行動することが大切であり、どのように町の政策に取り入れるのか。

町長 「ネットワークづくりでは生活者にやさしい情報化をはかるまち」を基本理念として「入善町情報化計画」を策定中である。

具体的には
①パソコンやテレビ電話を使って自宅で医者や保健婦と健康相談、介護相談、食生活指導等在宅健康支援サービス。
②安全と安心を提供し、生きる幸せを実感していただく。
③情報基地をサンウエルにおき、使いやすく気軽にサ

ービスを提供しながら定着をはかっていきたい。

情報社会のメリット、デメリット

トは

問 情報技術の進展に関するメリット、デメリットについてどのように思うか。

町長 ①相手との距離や時間が節約できる。
②地域間格差がなくなり、世界に向けて情報を発信出来る。
③快適な生活空間が作られる、など暮らしを便利にするという大きなメリットがある反面、①情報の氾濫
②個人情報やプライバシーの流用危機 ③情報の悪用

による犯罪など、デメリットも指摘されている。特に個人情報やプライバシー保護などが重要な課題となっており、その対応には十分注意していかなければならないと考えている。

問 下水道事業及び農業集落排水事業の予算総額、入善町の負担額はいくらか。本多下水道課長 予算総額は440億円、町の負担額は77億円を予定しているが、無駄がないように努力する。

下水道事業と合併浄化槽の維持管理費、建設費で、合併浄化槽は平均9万1000円、集落処理の場合、年6万4000円となり、下水道事業の方が経済的である。

問 総合計画では、人口減が確実である。完成時の世帯数、人口をどのように見込んでいるか。

下水道課長 公共下水道事業2万4500人、農業集落排水事業7000人、計3万1500人と平成3年の総合計画の数値で計画。新しい総合計画では2万9000人と計画され2500人の減となる。
実施後10年目の平成18年度には財政計画や住民負担などの再評価を行いたい。

入善町地域情報ネットワークセンター



公共事業の予定価格事前公表をいつから実施するか

本多 幸男 議員

財政課長

新年度に間に合うよう
何かの形で試行したい



ふるさとプラザ大阪で好評の朝日町産米

問 公正で公平な透明度の高い入札制度を確立する為に予定価格の事前公表を実施すべきである。競争の原理が損われるという意見もあるが、公表した上での競争原理の方法は研究すれば見い出せる。いつから実施するか。

事後にまた戻したという例もある。地方分権の時代でもあり、全国の動向を見ながら町長の決裁も受けながら新年度に間に合うように何らかの形で試行したい。問 10億円を超えるような公共建築事業は第三者に依る審査会を設けたプロポーザル方式を採用すべきである。特別養護老人ホームの設計業者を決めるのに、選

考委員会で協議したと言うが、一人を除いて全部役場の人間であり、透明感が無い。請負価格に競争の原理が働いていないのではないのか。誰がどのようにチェックし、適正な価格と判断するのか。

員が力を合わせ、多くの住民と接し、青少年の健全育成という水遠のテーマに挑戦すべきものと考えているが、町教育委員会の基本方針を伺いたい。

町長 10億円を超えるような施設は学識経験者等第三者を交えた選考委員会によるプロポーザル方式がふさわしいと考えている。

問 農業株式会社的な公社を創設し、役場職員の身分保障をして農業の青年後継者を育成する考えはないか。

財政課長 設計料が高いのではないかと指摘であるが、富山県土木部経営課の営繕委託算定基準に準拠し建設課都市計画係技師が査定しており、適正なものと判断している。

町長 公社設立はJ A入善町からも要望が強く、農地、農作業のみならず農業経営の一部を担う組織化も必要と考える。中核的農業の担い手は、認定農家27名、青年農業者12名、中核農家68名であるが、本年3名、米年2名の新規後継者が誕生する予定で大きく育ってほしいと念願している。

学校の評議員制度に対する町教委の方針があるか

問 文部省が打ち出した学校評議員制度についてさまざまな意見がある。学校というものは、校長をはじめ教職

自分達で守る高齢化社会

大橋 美椰子 議員

町長

制度の見直しと来年度予算で検討



おじいちゃん長生きしてね

問 高齢者や障害者への、各行事のあり方を検討し、記念品の座布団や祝い金は商品券にしては。国からの395万1000円補助への取り組みを問う。

町長 敬老対策については様々な福祉サービスが実施されており、各地区民生委員の安否確認も行われている。県内や近隣市町でも敬

問 高齢者の年金の廃止や見直しが行われており、来年度予算で検討する。在宅福祉については配食、寝具乾燥、紙おむつの支給等、それぞれの状態に応じたサービスが提供されている。身体障害者1、2級、視覚障害の方々に福祉タクシーのガソリン券の支給がなされているが使用率が低い。これは一回の乗車で630円しか使用できないので制度の見直しをしたい。老人保健対策の国の補助金は生涯現役づくり推進事業費として取り組む。65才以上の高齢者全員が対象となる。痴呆や寝たきりを予防、あるいは遅延させ同時に病気や障害を受け入れて生涯にわたって現役で過ごせるような環境

なぜ壊す

公共物

問 旧柗山小学校は共同作業所、託老所、世代を越えた地域交流の場として活用したいとの声がある。駐車場のために取り壊すのか。また、健康センターの活用を望む。

町長 旧柗山小学校跡地は柗山地区の中核ゾーンとして、町と地元が一体となって整備を進める。健康センターは既に築後30年、老朽化も甚だしく使用に耐えない建物と思っている。中心

市街地再活性化の拠点となる地点でもあり、早急に取り壊したい。

問 NPO・ボランティア活動について指導、要請をお願いする。

大木企画広報課長 NPOの育成にあたっては、これまで企画広報課が設立のために情報を提供したことはある。

サンウエル内に「まちづくり談話室」を設置、ボランティアのみなさんに幅広く積極的に使っていただき、ボランティア活動の拠点としていただきたい。

NPOとは……
民間支援による広域活動を実施する非営利団体

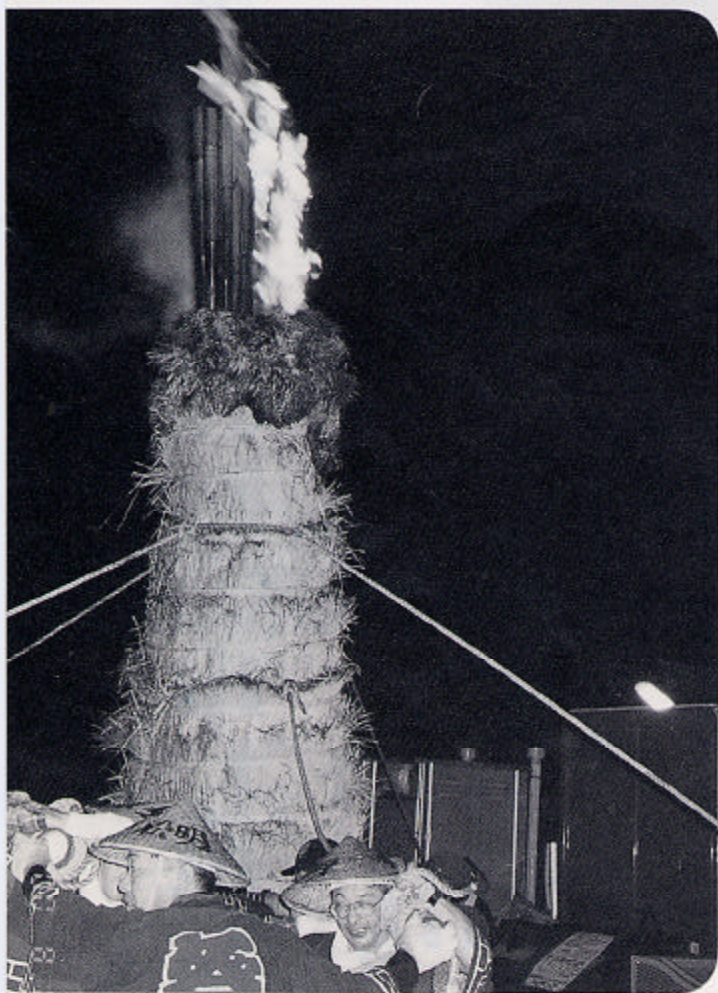
(編集部)

高速道路のパーキングエリア をサービスエリアに

長谷友義議員

商工観光課長

日本道路公団が
担当しており厳しい



勇壮な大タイマツ

問 入善のパーキングエリアをサービスエリアにして、ふるさと特産品のPRに努めたかどうか。今のままで、ただトイレだけの素通りで何のメリットがあるのか。

飛田商工観光課長 現在の入善パーキングエリアはトイレだけの通過型になっており、ご指摘のとおり町のPRに直接つながっていない。今までの取り組みはチユリッパのプラントを一週間程置いただけで、最近は何もやっていない。パーキングエリアは公団が担当しており、サービスエリ

アに昇格させる場合は、様々な制約がある。車の通行量や各層との関連性を調査したうえで、公団が判断し仮に認可されたとしても用地の買収や工事費などはすべて町側の負担で、今の状況では相当厳しいものがある。特産品や深層水を使った商品の販売や、場所など住民と相談しながらPRに努めていく。

問 まず冒頭に墓ノ木地区

子供達の 楽園にしたなら

に心からお礼申し上げたい。さすが町の無形文化財に指定されただけあってタイマツは雄大なものだ。またあの公園をホテルやカブト虫等の生息地にして子供達に夢を与える場にはどうか。

町長 8月14・15日の2日間、墓ノ木自然公園で初めてのイベント「あどべんちゃあ祭り」が開催された。趣旨は緑と水に恵まれた豊かな自然環境の元で、地元で伝わるタイマツ祭りや、盆踊りなどと魚のつかみ取りを通して家族のふれあいを再認識する体験学習の場として促している。いずれに

しても新たな発想で、今後も町に伝わる郷土芸能を核として、地区全体で取り組みがあれば応援していきたい。ホテルやカブト虫の里に出来ないかのご指摘だが、全国的にも自然形態に配慮した農林水産省や建設省の事業を取り入れる市町村が増えてきており、新たな観光資源として注目されているところだ。当公園における1年間の利用数は8000名以上で、特に都府会の人が多い。今年から3年計画で炊事場やトイレ、かっぱ橋の架け替え工事など行っており、今後も出来るだけ現在の状態を残していきたい。またあまり知られていないが、アメリカ製のオートバイ、ハーレー・ダビッドソンの大会も毎年秋に開催され、全国から10000人もこの地が集ってくる。自然公園が町の貴重な財産であることに感謝し、次の代へきちんと引き渡していきたい。

建設業者の寄附は町の申し出か

上野 等 議員

財政課長

寄附行為は業者の申し出である



桃李小学校の壁面を飾る絵画

問 桃李小学校本体工事請負業者が当該工事の完成前に絵を購入するための現金を寄附している。また、体育館工事請負業者も綴帳を寄附しているが、このような行為が町当局の申し出によってなされたものか。

財政課長 寄附行為は、請負業者の申し出であり、町が寄附を要請したものでない。また、寄附を受けた絵画とは400万円相当で町の備品となっている長崎莫人さんの作品である。

また体育館の綴帳については寄附があるかもしれないと判断し、設計に含めなかったと聞いている。

ちなみに、寄附採納は、

校舎棟建設施工業者2社から400万円相当の長崎莫人さんの絵画と、体育館施工企業体から950万円相当の綴帳であり、いずれも現金ではなく、現物で寄附を受けている。

問 本体工事の中で壁画が絵画に替わった。私は、この作品は、前田先生が桐山出身で、桃李小学校に最もふさわしいものと思っている。この作品が工事金に含まれたのに対し、なぜ綴帳は備品扱いや工事金に含めなかったのか。パブルがはじけ、不景気の最中にもかかわらず、工事金額を意識的に高くし、請負業者に、工事発注前から寄附させよ

うと考えていたのではないか。

財政課長 当時、工事費の1%を公共施設への文化性導入ということで進めており桃李小学校の壁画について、当初設計から含めていた。建設が進み、壁画にふさわしい壁面というか、壁の面積、高さ、バランスなどの点から設置できないとの結論に達し、絵画に変更になったと聞いている。

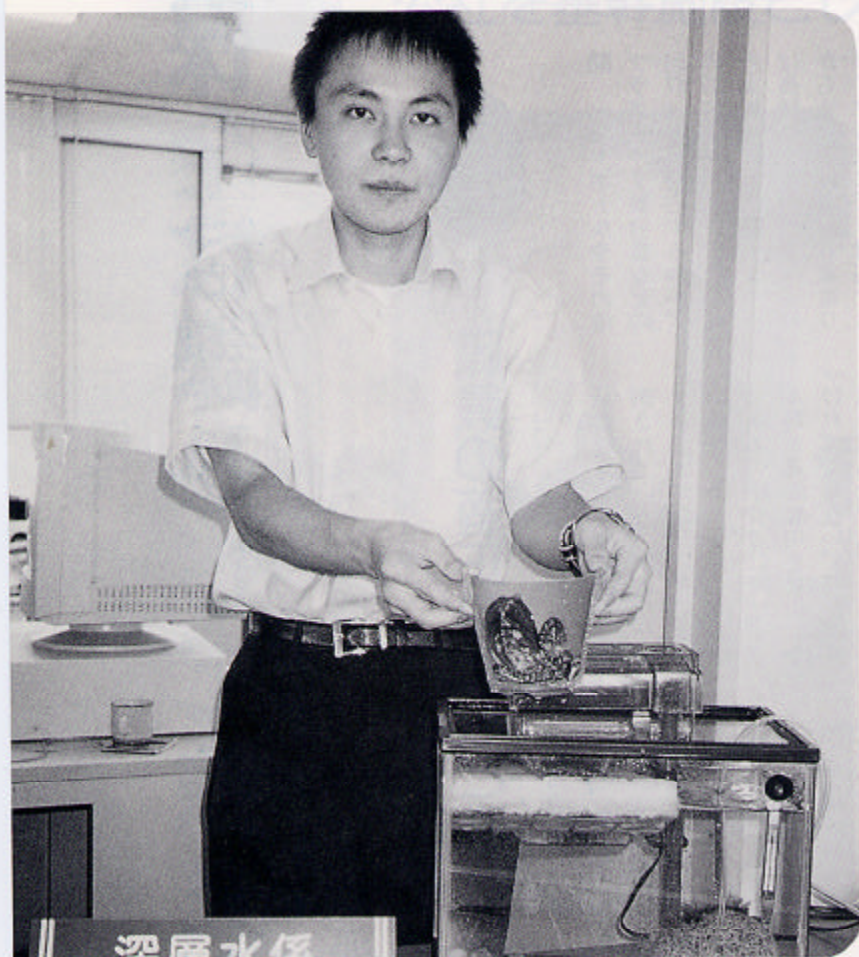
また、文化性の導入として工事費に含まれていたのは、壁画のほか富山県三先生の木造遊具「おらのかくれが」の2点である。

出し平ダム、宇奈月ダムの 排砂と土砂変質抑制策

山下 勇 議員

町長

より多くの地点で継続的な調査を行う
よう申し入れている



実験中のアワビ養殖

問 記録的な高温少雨によって連結排砂が見送られ、へドロ化防止のため土砂変質進行抑制策が実施されたが、その効果を疑問視する声があり、実情について説明を願いたい。

町長 関西電力、建設省から出された「土砂変質進行抑制策」の原案を土砂管理協議会で了承し、9月3日抑制策が実行された。酸素を含んだ水を18時間程度供給することで、堆積土砂の変

質を抑制しようとするものである。

問 黒部川水系と海面は、かなりの濁りがあり流出土砂の粒子もさうとう細かい。水量が少ないうえにこのような状態が続くと黒部川に住む魚はもとより、刺し網や定置網を汚す最大の原因となることは間違いないと思われる。変質抑制策を一回、二回と実施してどのような進展があるのか。

町長 出水により相当濁っ

海洋深層水事業の進捗状況について

ており、さらにダムゲート周辺の土砂が若干流出すると予想されたが、この抑制策がどの程度効果があったかはいずれ発表されることと考える。排砂や土砂変質抑制策の前後に行われる調査については継続的に行うよう申し入れている。

問 取水事業の設備変更により2億7800万円の増額の内容と理由は。

大角海洋深層水課長 取水管敷設延長とそれに伴う取水量減少回復のための管口径アップ、護岸貫通部の工事費の増嵩によるものである。

問 施設完成後の維持管理費の負担金及び養殖事業の取り組みに当り問題点が指摘されている。刺し網漁業者とのトラブルをどのように解決するのか。養殖事業の主体となる三漁協の合併問題の進展はどうなっているのか。

海洋深層水課長 共同漁業権内の水深350m付近から取水することにより刺し網漁業への影響も回避されるものであり、養殖事業については三漁協の合併による新漁協が事業主体となるものである。養殖、蓄養事業への取り組みが新漁協の経営基盤の柱となることが大切であり、関係各機関の協力、ご指導を仰ぎながら十分採算が見込める施設計画、事業運営等の検討を重ねてまいりたい。

環境保全は課として独立を

九里 郁子 議員

町長

職員の適正配置など強化したい



がんばってリサイクル

問 ペットボトルやその他のプラスチック製容器などの回収はどう対応するのか。容器包装リサイクル法の完全実施で宮沢清掃センターは長持ちするか。来年4月から完全実施される家電リサイクル法にどう対応するのか。常設の資源回収施設を増やす必要がある。環境保全係の仕事は幅広く、現体制では対応できていない。課として独立が適切である。

町長 環境保全業務は重要な分野であり、職員の適正配置など強化したい。

大沼住環境課長 ペットボトルは12年度は16%回収する予定。常設回収施設を増強し回収しやすくしたい。その他のプラスチック容器の回収は15年度からの予定。宮沢清掃センターの残

余年数は、8年弱程度と推測されている。家電リサイクル法の対象は、テレビ、冷蔵庫、エアコン、洗濯機である。消費者はリサイクル料と運搬費用を負担しなければならぬ。町が直接引き取らなければならぬものもあり、条例整備が必要になる。

低所得者の介護

利用料引き下げを

問 町の高齢者の79%が、本人が住民税非課税である。在宅介護の利用料を低所得者についてはすべて3%に引き下げる必要がある。新川地域介護保険組合には一市三町が出資したものなど7000万円の基金がある。

広域化による費用効果は住民に還元すべきである。

国民健康保険税滞納による健康保険証取り上げは実施すべきでない。納税実態と対応策はどうか。

健康福祉課長 利用料の軽減について新川地域介護保険組合で協議中。国保税一期の督促状発送件数は296件で増加している。分納など相談に応じたい。

入善駅委託化

無人化阻止すべき

問 町は、入善駅の委託化・無人化を阻止し、利用者の安全と環境を守らなければならぬ。4月以降、JR西日本などにどれだけ熱意を示してきたか。

町長 同じ問題を抱える加賀市、美川町とともに運輸大臣や総理大臣に陳情し、JR金沢支社とJR西日本に要望した。知事にも要望書を提出した。町民挙げて運動に取り組みたい。

商工観光課長 駐車場確保をJRと協議している。

町営バスの

台数増は不可欠

問 バスの台数増は不可欠である。スクールバスも含め、根本的な検討が必要。新総合計画がめざす町営バスのありかたとはなにか。

町長 利用者は増加傾向にあり、増車の早期実現に向け、取り組みたい。

市町村合併の今後の方針と対応を示せ

松 沢 孝 浩 議員

町長

合併推進についての要綱作成後に検討

問 富山県下における、20の市町村議会9月定例会において、政策フォーラム34（若手の30・40代市町村議会議員で構成）とその趣旨に賛同して頂く市町村議会の方々に市町村合併に関する問題について統一質問を行っ

た。
県は国の委託を受けて、「市町村合併の推進についての要綱」を作成し、自治省に報告を行った後に、来年3月までに公表する。
この一番のポイントは、市町村合併のバタインであり今後の対応について問う。町長 自治省では、都道府県知事に対して「市町村の合併の推進についての要綱」の作成を要請している。富山県では、広域行政研究

会を発足させ、合併の基本バタインづくりや調査を行い、平成12年度に要綱を作成する。その内容を各市町村に示し、論議の材料提供を行う。合併には、メリット、デメリットもあるわけで、合併後の行政運営にも多くの課題も伴うものだと認識している。

うな啓蒙活動や周知をどのようにはかるのか。
町長 町民への情報提供や機運の醸成は、自治省からの要綱がまとまり次第、各市町村に通知すると共に、合併についての自主的な検討や、関係市町村の検討・研究を行われるよう、的確な情報提供と支援について県へ要請が行われている。これとあわせて、議会、県民、マスコミ等に要綱を公表し、合併の機運の盛り上がりや要綱の検討を行い、議会とも相談したい。

問 広域的な行政の体制として、一部事務組合で対応か、それとも合併か、町長としての考えを問う。

町長 広域的な行政の体制として、今日まで一市町村では解決が困難なごみ、し尿、火葬場の施設整備をはじめ、環境対策、あるいは介護保険の共同処理など、事務事業の効率化、そして行政水準の維持向上など、一部事務組合で大きな成果をあげている。しかし、これは一部事務組合の拡充か合併かという二者択一の話ではなく、今後とも広域行政の果たすべき役割は評価していくべきだ。

庁舎正面



優良工事と評価された下水道工事

あらゆる事故に対応できる 救助工作車の導入を急げ

上田 健次 議員

町長

最新資機材を積載する

救助工作車を順次整備したい

問 8号線が入善町を東西に横断し、富山から東の通過市町において、救助工作車が導入されていないのは、当町だけである。過去の事故においても隣接の市町の応援を受けている。早く導

入を望む。

町長 現在消防署に配備されている救急資機材搬送車は、災害に対応し得る資機材が不足しており、約20年が経過し車両各部の老朽化走行性能も低下しているの

が現状である。複雑、多様化する交通事故をはじめ、あらゆる災害等に対応できる最新資機材を積載する救助工作車を順次整備したい。

問 行方不明者の捜索支援体制はどうなっているか。

上野消防署長 行方不明となった場合に、公的機関として市町村や警察があり、消防においては、消防組織法第一条「災害による被害の軽減」の規定により、消防機関の任務となり、火災警防等の業務に支障の生じない範囲で警察と協力して救助捜索活動を実施する。

工事発注シス
テムについて

問 下水道・土木工事優良施工者の特典は何か。

工事の直近上位等級は直近下位等級に格付けされた者の中から選定できる。今回の工事は、用地の提供と物件移転に協力していただいたということ、Bランクの工事にAランク1社を指名した。

財政課長 受賞者の特典として指名回数を増やす。

問 道路工事の請負業者の2物件同時施工指名は規制があるのかどうか。

◎1ランク上の工事指名参加を考慮する。

財政課長 舗装工事は、件数に拘わらず、毎回指名をし、改良工事は、工事の規模によりランクごとに指名している。Dランクの指名については地権者など関係者との調整を要することから、施工場所の近くの業者から指名している。

問 ランクの混合指名入札について問う。

財政課長 入善町請負工事等入札参加者選定要領では、工事の執行上において理由があれば3分の1を超えない範囲において、当該等級

深層水の実用化の 取り組み状況を問う

板川清治議員

農業水産課長
海洋深層水

医科学分野・農業分野に
ついて検討中



実用化がすすむ深層水

問 非水産部門の取り組み状況について問う。
海洋深層水課長 海洋深層水の利用に対する問い合わせが町内や県内外の企業や事業者から受けており、飲料水や食塩製造となれば取水付近の立地が期待できるので周辺道路や深層水のPRなど産業インフラの整備

問 企業立地用地の先行取得については、事業者の意向を踏まえながら企業誘致策を講じる。
医科学分野での深層水実用化のためには、各種事業化に向けての基礎データや基礎研究が大切であり、県や関係機関との連携をは

深層水の 取水位置を変更

問 農業分野については、富山県立大学との連携をとりながら施設園芸への応用や水稲栽培への活用研究について検討する。

問 海洋深層水の取水位置を変更する理由は何か。
海洋深層水課長 低温で清浄な日本海固有水を取水するためには、水温勾配が変化する水深300m付近は、日本海固有水と非固有水の境界層であるとされ

問 なぜ今年度に予算化された養殖施設の用地購入費2000万円を減額することになるのか。
農業水産・海洋深層水課長 12年度の国庫補助対象を期待していたが、13年度から漁港事業の見直しを促している、その事業の中でクリアできるかと思っていたが結果的には13年度の補助対象にすることになった。

旧栢山小の 校舎はどうなるか

問 栢山保育所の改築にあたり旧栢山小学校校舎を取り壊すのか。
町長 取り壊すことに決めている。
だが、取り壊す期日については、13年度の早い内にと考えている。
建物については、いづらか残せるものがあれば残す。また、その中で材料として使っていけるものがあれば使う。
場合によっては、移築することもあると思う。

米価暴落を招いている輸入米の制限を政府に求めるべき

松田俊弘 議員

助役

近隣市町と歩調を合わせながら、
国、県に働きかける

問 8月の自主流通米の入札価格は、60kg当り1万7306円、昨年に比べ1478円、96年と比べると5700円近くも下がっている。国が計算した生産コスト1万9991円をはるかに下回り、農家は危機的状況だ。

政府が過剰としている米は229万トだが、この5年間のミニマム・アクセス輸入米は271万トにもなる。米価暴落の最大の原因は、WTOの農業協定に追随し輸入を拡大してきた政府の政策にある。町長はミニマム・アクセス米の輸入の中止と、自主流通米の値幅制限の復活を強く政府に求めるべきである。

また、青果物や球根も、ここ数年で3・5倍にも増えた輸入に押されて暴落している。今や農家は八方ふさがりだ。農業と農家の生活を守るには、WTOでも認められている緊急輸入制限(政府ガード)を求めていくべきだ。

助役 J Aがミニマム・アクセス米や在庫処理について、国の責任ある対策を求めている。価格の低迷は本町農業にとって大変厳しい。町としても近隣市町と歩調を合わせて国、県に働きかける。

**土砂管理協議会
委員の町長の責
任は重大**

問 建設省は「排砂に関する最終決定は土砂管理協議会が行う」と言っている。委員である町長の責任は重大であるが、土砂管理協議会の役割、権限は何か。松島建設課長 排砂実施は最終的には建設省と関電が決定する。土砂管理協議会は協議、調整の場である。

問 9月に、宇奈月ダム湖上流で撮られた写真には川原の砂の下に、黒っぽく変色した落ち葉や木屑が、約5cmの厚さで堆積している。ダム湖全体がこの状態ならば、今後の連携排砂での影響が懸念される。町長は建設省に調査を求めるべきだ。町長 専門家にみてもらって、どのような方策をとればよいか話し合っていく。

**学校給食は
自校直営方
式のままで**

問 入善町の自校直営方式による学校給食は、町の内外から高く評価されている。引き続きこの方式を進めていくべきである。

全小学校の調理室の視察で、衛生上も作業上も様々な問題があった。早急な改善が必要だ。教育長 現段階では現状の設備で十分である。今後問題が発生すれば順次改善する。

宇奈月ダム湖上流の堆積物



7月から9月まで 町発注工事入札結果表

単位 千円

工 事 名	請負金額	予定価格	落札率 (%)	入札回数	落 札 業 者	備 考
一 般 工 事						
県単農業農村整備浦山新地区道路舗装工事	11,000	11,178	98.4	1	広川建設工業㈱	
西愛場線外1路線改良工事	7,690	7,722	99.6	1	有限会社 草建工	
上町君島線歩道舗装工事	6,800	7,509	90.6	1	広川建設工業㈱	
横山長島線消雪さく井工事	5,300	5,307	99.9	1	㈱上田管工事工業所	
上飯野新小摺戸線改良工事	26,000	26,456	98.3	1	石川建設㈱	
墓ノ木自然公園取水ポンプ・配水管設備工事	6,650	6,777	98.1	1	有限会社 若島工業	
墓ノ木自然公園炊事場新築工事	5,200	6,201	83.9	1	中山建設株式会社	制限価格以下1
上原町管住宅屋根瓦葺替工事	5,590	5,878	95.1	1	株式会社 松原工務店	
総合体育館アリーナ床再生	5,600	5,637	99.3	1	ウイルビー株式会社	
入善町武道館駐車場整備	17,600	21,967	80.1	1	中山建設株式会社	制限価格以下4
入善漁港蓄養施設建設工事	42,500	43,401	97.9	1	㈱飯作組	
神林入善中学校線改良	8,180	8,254	99.1	1	㈱大豊建設	
県単農業農村整備臼森地区道路改良	10,180	10,258	99.2	1	興和建設㈱	
その他工事17件	45,255	49,244	91.9			
計	203,545	215,789	94.3			
特 定 環 境 下 水						
入善東部処理分区第27工区	28,500	29,185	97.7	1	株式会社 内島組	
入善西部処理分区第21工区	14,680	18,351	80.0	1	㈱高沢組	制限価格以下1
入善西部処理分区第22工区	14,500	18,127	80.0	1	中山建設株式会社	
入善西部処理分区第23工区	33,000	38,146	86.5	1	㈱飯作組	
入善東部処理分区第28工区	28,000	28,570	98.0	1	広川建設工業㈱	
入善東部処理分区第29工区	18,560	23,211	80.0	1	大勝建設㈱	制限価格以下5
入善西部処理分区第24工区	32,000	33,654	95.1	1	株式会社中山組	
入善西部処理分区第25工区	31,000	37,571	82.5	1	黒隆工業株式会社	
吉原第1ポンプ場建設	178,000	195,897	90.9	1	日本電気・広川建設JV	
計	378,240	422,712	89.5			
農 業 集 落 排 水						
小摺戸地区県道大家庄上飯野線舗装本復旧工事	4,300	4,440	96.8	1	小川建設工業㈱	
小摺戸地区中継ポンプ設備工事	35,000	35,653	98.2	2	㈱上田管工事工業所	
小摺戸地区管路工事第Ⅱ-64工区	19,800	21,414	92.5	1	上島建設工業㈱	
計	59,100	61,507	96.1			
公 共 下 水 道						
入善処理分区第87工区	13,050	16,290	80.1	1	竹田建設	制限価格以下1
入善処理分区第89工区	36,500	38,194	95.6	1	道又建設	
入善処理分区第90工区	27,000	27,744	97.3	1	池原建設株式会社	
入善処理分区第91工区	34,000	35,083	96.9	1	㈱杉沢組	
入善浄化センター場内整備その1工事	14,750	18,448	80.0	1	建設業 稲村組	制限価格以下3
入善浄化センター場内整備その2工事	14,500	18,127	80.0	1	竹田建設	制限価格以下4
計	139,800	153,886	90.8			
総 計	780,685	853,894	91.4			



入善漁港蓄養施設建設工事

今回の第2四半期は、一般工事だけでも30件と工事発注件数が多かった。いよいよ海洋深層水事業が着手され、町民の期待が寄せられている。

下水道事業も、多くの工事が発注されたが、受注競争が激しく、制限価格以下の応札が多くみられた。特に特定環境下水道関連の工事の落札率が低い傾向にある。

町当局は、今後優良工事施工者名を公表する方針を示しており、より厳格な工事施工を期待する。

各種団体からひとこと

ちびっこサークル

「わんぱくキッズ」

代表 五十里 みのり



「わんぱくキッズ」その名の通り、元気・笑顔いっぱいの子供達が集い、親子で楽しんでいる自主サークルです。保育所や幼稚園にまだ入っていない0才から3才位の子供達とその保護者が、毎年40組前後参加しています。

この会は、入善町主催のちびっこ広場がきっかけとなり、西部児童館で平成6年に発足しました。毎週木曜日の午前中に集まり、大変にぎやかに遊んでいます。月に1回は、季節に応じた行事をした

り、大人が主役になったゲームをしたりして、盛り上がりついでいます。また、専門家による育児相談もあり喜ばれています。

少子化や核家族化が進む中、この様なサークルの果たす役割は大変重要と考えています。人との関わりの中で、親子共に心を安定させ、育児にはない生きた学習の場として、成長し合っている様に思います。

参加者の声です

- ◎みんなと話が出来て、ストレス発散が出来ます。
- ◎友達が出来て嬉しいです。
- ◎仲良くなった人からお下がりがもらえ、助かりました。
- ◎友達との輪が広がりました。

- ◎自分だけではないという思いで心が楽になりました。
- ◎沢山の子供達に触れ、我が子が活き活きしています。
- ◎先輩ママの話がとても参考になります。
- ◎児童館の駐車場がないので、困っています。
- ◎床が硬く、冬は特に冷たいのが気になります。

お子様と一緒に、是非参加してみてください。おばあちゃんも沢山いらしています。

最後に、この様な素敵な集いの場を与えて頂き、入善町、そして私達の声に耳を傾けて下さる議員の皆様、感謝の気持ちでいっぱいです。今後も未来の為に、育児問題に目を向けていって頂きたいと思っております。

傍聴席からひとこと



島田昭興さん

(柗山)

九月に開催された第二十七回定例議会を傍聴いたしました。

今回の議会では、町内でも論議のあった旧柗山小学校や柗山保育所の問題について質問があることを聞きその内容について知りたいと思いい出席しました。

私にとっては、久しぶりの傍聴でしたが、最初に感じたことの一つは質問される議員が十四名という大変多くの方々であるということに驚くとともに、町政への取り組みの熱意とその重要性を強く感じ、改めて認識を深めました。

一般質問の内容では、これからの入善町の将来像を見通した新総合計画に関する施策、町の活性化対策をはじめ、教育や農業問題等々今日の課題が多く取り上げられました。

各議員の方々の質問では、それぞれの立場から事前に十分時間をかけ問題点等を見極めた上での的確な意見や質問がなされていること、また、町当局の真剣な取り組みの姿勢が答弁の中でも伺われ、感銘を受けました。今まで町で発行されている「議会だより入善」を読んで概要を知る程度でしたが、今回の傍聴を契機に、住みよい地域づくりを進めるうえでも町政を知ることが大切であり機会をみて傍聴に行きたいと考えています。

おわりに、町民が一人でも多く町政に関心をもち、町の将来を考えられるように誰もが傍聴しやすく、開かれた議会として「日曜日開催」ができないかご検討いただきたいと思います。

編集の窓

さわやかな風と共に2週間にわたるシドニーオリンピックも幕を閉じた。

柔道、マラソン、水泳、数々のメダルを獲得。満面輝くばかりの笑顔。その下に隠された日々の苦闘。何秒の勝負もあれば、何時間にもわたる死闘もある。

終わって出る言葉は「楽しい時間でした。」なんと清々しく、さわやかな言葉だろうか。

ガチッと組み合わせられた信頼関係のコーチと選手。

議会も行政と連携で町民のみなさんに楽しい時間の連続を約束したいものである。

議会広報編集特別委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 本多 幸男 |
| 副委員長 | 元島 正隆 |
| 委員 | 大橋美椰子 |
| 委員 | 谷口 一男 |
| 委員 | 谷 昌典 |
| 委員 | 九里 郁子 |